

令和3年度事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

はじめに

令和3年4月に新型コロナウイルスのワクチン接種が高齢者から順に始まり、令和2年1月に国内で始まったこの感染症も、ワクチン接種が増えるに伴い収束に向かうのではという期待がされていました。令和3年の12月には減少し、収束するかに思えたものの、令和4年になって新たな変異株の第6波が発生し、2月には感染者数がこれまでの最高となり、感染拡大の防止が私たちの「普通の日常」になってしまっている状態です。

当センターでも、コロナ防止対策として、市や県シルバー連合会からの通達により、事業計画の中止や延期、会員の就業中止、書面議決やリモート会議など、対応を行っております。

さて、令和3年は平成28年に策定した第1次の中長期計画を踏まえ、第2次中長期計画を作成する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画については1年ずらし、基本方針である「会員の増強と就業率の向上、受託事業の拡大」の3つの目標を継続し、5年後の目標に向かいます。

人生100年時代と言われる今日にあって、健康で働けることに喜びと誇りをもって、健康づくりに、ひいては地域貢献にも役立ちたいと願う会員多数の活躍の場として、一層の充実を図っていききたいと願っております。

令和3年度事業の取り組みに際し、会員及び発注者の方々、並びにかほく市をはじめ県連合会から、多大なるご支援を頂きましたことに深く感謝を申し上げます。

以下令和3年度事業実績状況について報告いたします。

事業報告

1. 会員の入会促進と作業マナー向上

(1) 機関紙及びかほく市広報紙を通じて、入会説明会開催等の周知を図った。

(2) 「一人の会員が一人の仲間を増やす」をモットーに地域活動や個々の会員勧誘活動を進め、マナーを備えた会員を増やし、活力のあるセンターを目指したが新型コロナウイルスの感染拡大防止のためマナー講習会は中止とした。

- ・機関紙発行 (1月6日 「シルバーだよりかほく」発行)
- ・マナー講習会 (2月9日 感染拡大防止のため中止)

2. 組織活動の活性化

(1) 各種専門委員会の活性化を図るため、意向調査を実施した。

(2) 地域貢献活動などを行い、シルバー事業への積極的な参加を促した。

- ・会員アンケート調査 (1月 278名宛発送)
- ・ボランティア清掃 (11月12日 30名参加 七塚中央公園)

3. 普及啓発活動の推進

- (1) パンフレット・チラシ・ホームページ作成等により周知を図り、受注件数の増加を図った。
- (2) 発注者へのアンケート調査を実施し、新規顧客の獲得や受注件数の増加を図った。
- (3) 市内で行われる各種イベントへの参加、新聞等へのセンター事業の情報提供等によりセンター活動を周知した。
- (4) 会員と会員家族を交えた交流イベントは感染防止のため中止した。
- (5) センター独自の広報を充実した。
 - ・「かほく市暮らしのガイド 2022」に普及啓発広告を掲載した。
 - ・お客様満足度アンケート調査（12月に344人(社)へ発送）
 - ・かほく市生涯学習フェスティバル（10月 感染拡大防止のため参加中止）
 - ・ぶどう狩り体験会（8月 感染拡大防止のため中止）
 - ・会員だより等発行（毎月中旬）

4. 事業拡大と就業機会の拡大、派遣就業の取り組み

- (1) 日常生活上の生活支援が必要と市から判断された市民に対して、「軽度生活支援事業」を、実施したが利用者数は減少した。
- (2) 令和3年度より、「かほく市ふるさと納税」の返礼品に、シルバークの墓地清掃の受託が決まり、新たな取り組みとして、市・利用者・会員・センターで満足されるサービスが提供できるよう進めたが今年度の依頼はなかった。
- (3) 令和元年度より独自事業として実施している農作物栽培で、栽培・販売事業をすすめて就業機会の拡大を図った。また農作物栽培推進委員会を主体として、ぶどう畑や野菜畑の栽培について協議した。
- (4) 労働者派遣事業を推進し、就業機会の拡大及び適正就業に努めた。
 - ・軽度生活援助事業の実施（3名の利用者に対し会員3名で6月から利用者減ったため延べ76回）
 - ・「かほく市ふるさと納税」の返礼品（墓地清掃の実施）
 - ・農作物栽培の実施（35名参加 ぶどう畑 二か所の野菜畑）
 - ・新規派遣就業がマスクの生産工場で検品業務が始まった。

5. 安全・適正就業の推進

安全・適正就業推進委員を中心として安全講習会及び安全パトロールを強化し、事故撲滅を目指した。

- ・交通安全講習会（2月9日 感染拡大防止のため中止）
- ・市内安全パトロール（10月27日かほく市内3か所で実施）
- ・合同パトロール(連合会と近隣のセンターとの合同を予定していたが感染拡大防止のため中止)
- ・県警支援シルバードライビングスクール実施
（7月10日・13日 会員27名参加）
（太陽自動車学校指導員による高齢者対象の運転診断と安全指導）

6. 技能・技術講習会への参加

会員や発注者のニーズに対応できる人材育成を目的とした、センターまたは石川県シルバー人材センター連合会が主催する講習会に参加し、作業品質や技能・技術の向上を目指した。

- 農作物栽培講習会 (4月22日会員24名参加)
- 草刈り機技能講習会 (7月5～6日 会員9名参加)
- 剪定講習会 (10月12～14日 会員9名参加)
- ドローン講習会 (9月9～10日 会員12名参加)
- 運転(派遣業務)技能講習会 (10月26日 会員6名参加)

7. 会員の福利厚生と健康管理の向上

- (1) 会員の知識向上と会員相互の親睦を図るため、会員互助会の自主性を尊重しつつ、活動の支援を行った。
- (2) 講習会や軽運動教室等を開催して、会員の健康意識の高揚に努めた。
- (3) 事務所会議室を、会員の方に日を決めて解放し、サークル活動等の支援を行った。

- 健康料理講習会 (12月8日 会員10名参加)
- 健康体操教室 (10月8日 会員23名参加)
- 卓球愛好会 (R3年4月～R4年3月 4～8名参加 毎月2回)
- パソコン教室 (R3年4月～R4年3月 3～6名参加 毎月2回)

8. 第2次中長期計画の策定

令和3年4月から、事業運営の指針となる第2次中長期計画を策定し、令和7年度までの5年間について、毎年度終了後に実績評価を行い、必要であれば対策も講じる予定であったが、新型コロナウイルスの影響のため、会議なども開けず令和4年度から令和8年度迄と理事会の承認を得て延期した。

9. 事務局体制の充実

全シ協や県連合会などの研修会等に積極的に参加して、多様化する地域社会や会員のニーズに的確に対応できるように職員の資質の向上を図った。

- SMS(ショートメッセージサービス)を使っての一斉メールにより、会員及び発注者への連絡体制の確立を図った。

以 上